

ネイチャーウォッチングだより

令和6年8月28日(水)

主催:愛知教育文化振興会

協力:岡崎女子大・短大

8月24日(土)、Bグループ第1回ネイチャーウォッチング「川の生き物調べ」を、岡崎市ホテル学校を利用して開催しました。幸い、夜半までの雨はあがり、すぐ横を流れる鳥川も水かさは増していましたが、なんとか体験できる水量でした。「川にすむ生き物について知り、実際に川の生き物の採集体験をする」ことを目的として行い、27組の親子合わせて80名が参加しました。



川の生き物について解説する田中先生

講師を務めてくださったのは、岡崎市立河合中学校の田中啓之先生です。先生が事前に採集されたカワムツやヨシノボリなどの魚類、水生昆虫のタガメやミズスマシ、ミズカマキリなどが入った水槽が並べられ、観察会の開始前から生き物に見入る子どもたちもいました。タガメやコオイムシなどは絶滅危惧種で、「初めて見た！」と子どもたち以上に興味深く見つめる保護者もみえ大好評でした。

田中先生は、三河地方の川や池で見られる魚や水生昆虫などの生き物を写真で紹介し、「網で生き物を追いかけても逃げてしまいます。網を固定しておいて足や手を使って追い込むと網に入ってくれます」

など、川の生き物を捕まえるコツを説明されました。

続いて、いよいよ川に入っの生き物採集です。ホテル学校の横を流れる鳥川で、グループに分かれ親子で一緒に活動しました。川幅は3~4メートルほどです。流れはやや速いところもありましたが、水深は深くても膝くらいまででした。小さな子も安全に活動することができました。



田中先生による生き物鑑定

川での生き物探しが始まると、「カニ捕まえた!」「魚が入ったよ!」などの声があちこちで聞かれました。「ネイチャーウォッチング」で大切にしていることの一つに「親子で楽しむ」ことがあります。自然体験を親子で一緒に始めるきっかけになればいいなと思っています。

実際の活動では、サワガニのほか、さまざまな種類のヤゴ(トンボ幼虫)、カワゲラやトビケラなどの水生昆虫、ヨシノボリやカワムツなどの魚類を確認することができ、グループで紹介し合いました。モクズガニを惜しくも逃がしてしまったと、親子で悔しがる姿に、ほんのり温かさがにじんでいました。

最後にアンケートから感想の一部を紹介します。

・見たことのない、ヤゴや魚、カニをいっぱい見つけられた!(子)
・ボランティアの学生さんや田中先生にいろいろと教えてもらえてよかったです。(父)

・サワガニがたくさんいて、楽しかったです。普段触れない虫やカニも、手でつかむことができました。(子)
・初めて見た生き物に触れて面白かった。(子)



何が入ったかな?



捕まえた生き物たち

・愛知県にこれほど豊かな自然があったことを改めて認識できた。(父)
・たくさん生き物がとれて楽しかった。小さな川にもいろいろな生物がいることがわかった。(子)
・ふだん入ることのない身近な川で観察でき、貴重な体験でした。ありがとうございました。(父母)

